

授業概要

子どもの感性と表現を育むために、学生自身が環境によって影響を受ける感性や身体表現を実際に体験し、表現者としての自分自身を成長させ、同時に保育者として子どもへの理解をも深められるよう指導する。
 伝承あそびやフォークダンスを通して時代や地域が育んできた身体表現について指導する。
 運動会の演目を創作し、指導を行う模擬保育を実施し、指導計画・環境設定・言葉かけなどを指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション、子どもの環境と身体表現 <講義>
第2回	メディアと身体表現
第3回	表現あそび 伝承あそび
第4回	表現あそび 自然の中で
第5回	表現あそび 生活場面から
第6回	表現あそび 隊形
第7回	フォークダンス
第8回	模擬保育準備①
第9回	実技テスト
第10回	模擬保育準備②
第11回	模擬保育準備③
第12回	模擬保育① 運動会の演目をつくる
第13回	模擬保育② 運動会の演目をつくる
第14回	模擬保育③ 運動会の演目をつくる
第15回	模擬保育 まとめ
第16回	模擬保育の振り返り、レポート提出

到達目標

- ・ 今日の子どもを取り巻く環境を理解し、より豊かな感性と表現を生み出だす環境を整える力を身につける。
- ・ 学生自身も表現者として「感じて・考えて・行動する」力を養う。
- ・ 模擬保育を通して指導計画・環境設定・言葉かけなどの実践力を身につける。

履修上の注意

- ・ 毎時、プリントを提出することで出席とする。
- ・ 遅刻は、やむを得ない場合 20 分以内で認めることがある。それ以降は欠席とする。遅刻は 3 回で欠席 1 回と同様の扱いをする。
- ・ 講義の指定がある時以外は実技である。運動をするのに望ましい服装・身だしなみで受講すること。室内用の運動靴を履くこと。
- ・ 講義、実技を問わず筆記用具を持参すること。また、B5 ノートを用意すること。適宜、ノート提出を行う。

予習復習

予習：シラバスを確認し、自身の生活や子どもの生活を観察しイメージを膨らます。
 復習：プリントを提出し、ノートにまとめる。

評価方法

授業内課題、模擬保育への取り組み、授業態度等の平常点50%。実技テスト30%。レポート20%。

テキスト

毎時プリントを配布する。

【参考文献】

平田智久・小林紀子・砂上史子編『最新保育講座 11 保育内容「表現」』、ミネルヴァ書房、2012年